

まち・商店街の魅力に気づく

“商店街だからこそできるブランド化”を考える

ワークショップ成果発表会

寂れた商店街を元気にしたい。地域住民に商店街の良さを知ってほしい。でも、どうしたら良いかわからない。近畿経済産業局では、そんな悩みを抱えた、あびこ、泉大津、三宮・元町、道明寺にある4つの商店街が「まち・商店街のブランディング」を考えるワークショップを開催しました。ワークショップでは、“こんな商店街になりたい”という想いとそれを実現するための“プラン”を描き、“商店街の軸となるブランド”を考えました。本イベントでは、その成果・事例を発表するとともに、商店街がブランドを考える際の気づき・もやもやをワークショップの講師と一緒に振り返ります。さらに、商店街のブランディングを考える上で知っておきたい知的財産権についてもご紹介します。

日常の当たり前の景色が、実は商店街（まち）の“魅力”であり、“ブランド”になる。皆さんの商店街のブランディングを考えるきっかけにしてみませんか。



R7.2.3(月) 14:00～(受付13:30～)

※終了後名刺交換会を実施します(名刺をご持参ください)



定員60名

参加無料

事前登録制



グラングリーン大阪 JAM BASE CONFERENCE6-2

【大阪市北区大深町6番38号(最寄り駅:JR大阪駅・阪急大阪梅田駅など)】

▶ 商店街×ブランディング

■成果・事例発表

～商店街のブランドを本気で考えた4ヶ月間～

ワークショップでは、各商店街が「強み」・「弱み」・「魅力」を再認識し、それらを活かした「なりたい商店街の姿」と実現するためのプランを思い描きました。

4ヶ月間、本気で取り組んだワークショップでの「気づき」と「商店街の軸となるブランド」を発表します。

■トークセッション

「商店街だからこそできるブランド化！」

パネリスト

株式会社地域環境計画研究所
代表取締役 若狭 健作

mottif lab 代表 坂本 友里恵

ワークショップ参加商店街メンバー



商店街のメンバーがワークショップの講師と一緒に、3つのお題でワークショップを振り返ります。

- ・ 商店街の当たり前って実はめっちゃ魅力的！
- ・ 買い物だけじゃない？～まちの人と商店街の関わり方～
- ・ 商店街のことは、“人ごと”じゃない“自分ごと”

▶ 商店街×知財



■講演

「知っておきたい商店街の知的財産権」

弁理士法人ととせ・ももとせ 代表 弁理士 齊藤 整

知財とブランディングに精通した弁理士が、知財の概要、商店街がキャッチコピーやマスコットキャラクターなどを活用する際の留意点、ブランドと知的財産との関係等について、分かりやすく解説します。

■支援機関紹介

「商店街支援事例紹介と支援施策について」

独立行政法人 工業所有権情報・研修館(INPIT)

参事 地域支援部 企画調整役 佐藤 浩昭

埋もれてきた地域資源や地域のストーリーをブランド化するなど、知財の総合支援機関である「INPIT」が支援してきた商店街を盛り上げるための知財活用事例を紹介します。さらに、気軽に知財のことを相談できる窓口を紹介します。



参加商店街紹介

泉大津中央商店街(大阪府泉大津市)

南海泉大津駅付近に位置し、最盛期は約60店舗近くが営業していたが、現在では人通りも少なく、10数店舗の営業に留まっている。商店街を元気にしたい有志で組織する「やったろ会」の若手メンバーがワークショップに参加。繊維産業のまちである泉大津の歴史的背景を踏まえた「人でつむぐ商店街」をテーマに、61年の歴史を持つ商店街を未来へ“紡ぐ”、商店街に関わる人を“紡ぐ”ことを意識したアクションを起こしたい。

地下鉄あびこ中央商店街(大阪府大阪市)

地下鉄あびこ駅からすぐに位置し、「あびんこ」の愛称で地域住民に親しまれ、多くの来街者が訪れる。近隣にマンションと大型ショッピングセンターの建設が控えており、来街者のニーズを掴み、新たな一手を打つために商店街の理事長を中心に商店街のメンバーがチームを組んで、ワークショップに参加。地域住民に愛される商店街であることを強みと捉え、“地域に密着した商店街”だからこそ提供できる情報を発信して、地域住民から「頼られる商店街」を目指す。



ありがとう神戸プロジェクト実行委員会(兵庫県神戸市)

元町・三宮エリアには50を超える商店街等の団体があり、年間を通して多くの来街者が訪れている。今回、当該エリアの周遊性を高めるために、三宮高架商店街、三宮本通商店街、元町商店街、神戸市商店街連合会の有志及び神戸市役所がチームを組んでワークショップに参加。震災から30年を迎える本年、「巡りきれないストーリー」をテーマに、来街者が個性豊かな商店街を周遊し、魅力を感じてもらえる仕組みを検討する。

道明寺天神通り商店街(大阪府藤井寺市)

近鉄道明寺駅から徒歩1分の場所に位置し、道明寺天満宮のお膝元の商店街として、初詣等では多くの来街者が訪れる。商店街の会長、宮司、地元店主、商工会など、商店街に関わる様々なメンバーでチームを組み、ワークショップに参加。道明寺天満宮や大坂夏の陣での道明寺合戦の跡地であることなど、歴史的資源の豊富さを活かして「歴史×革新」の融合をテーマに観光客も地域住民も過ごしやすい商店街を目指す。



講師紹介

株式会社地域環境計画研究所 代表取締役 若狭 健作 氏

1977年大阪市生まれ。都市計画・地域計画に関する調査・コンサルティングを通じて、住民と地域社会や行政とのかかわりを企画するローカルプランナー。図書館やホールなどの公共施設、公園、運河、商店街や市場などさまざまな公共空間に、人々が集い活動するきっかけと仕組みづくりを得意とする。

独立行政法人 工業所有権情報・研修館(INPIT) 参事 地域支援部 企画調整役 佐藤 浩昭 氏

独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)は、「知的財産の総合支援機関」として、中小企業等が抱える経営課題の解決に向けて、アイデア、技術、ブランド、デザイン等の「知財」の側面から支援を行う知財総合支援窓口を運営している。

さらに、知的資産を活用した事業成長が見込まれる中小企業等に対して、専門家チームを派遣する加速的支援を実施している。

弁理士法人ととせ・ももとせ 代表 弁理士 齊藤 整 氏

神戸市出身。関西大学社会学部卒、専門は都市社会学。商社勤務を経験した後、知的財産業界に転職し、商標業務特化型の知財事務所を設立。弁理士業に加えてブランディングについても守備範囲を広げ、ブランド構築から知財保護まで様々な悩みに対応している。相談を受けたクライアント数は国内外2,000以上。1級知的財産管理技能士(ブランド)、ブランド・マネージャー1級資格認定者。週末は仕事を忘れて趣味と家庭に生きる3児の父。

mottif lab 代表 坂本 友里恵 氏

横浜出身・神戸在住。防災教育のNPOやKIITOの企画スタッフを経て、現在は「ひと・こと・もの・ば」を繋げながら色々な場面で企画することを生業とする。空き空間を活用した居場所の立ち上げサポート、商店街市場の賑わいづくり、駅前広場の活用など、「できない」こと以外は幅広く挑戦中。灘中央市場内の空き地を活用したコミュニティ農園「いちばたけ」の立ち上げから携わり、地域コミュニティを巻き込みながら運営をしている。

お申込み・お問い合わせ

右記QRコードを読み取り、お申込みください。
※利用できない場合は、下記連絡先までお問い合わせください。
経済産業省 近畿経済産業局 産業部 流通・サービス産業課
TEL : 06-6966-6025 Mail : bzl-kin-commerce-lg@meti.go.jp

